

★=(ポリウレタン、塩ビ製品への帯電防止性能付与技術)=★

★電荷減衰測定で、数秒で0ボルトに達成可能★ (特許申請中)

株式会社ボロン研究所

Email : info@boron-labo.co.jp

絶縁体の領域にある無機物質への処理材

1 被処理対象物

平均粒径3~4 μm の炭酸カルシウム粉末。

2 表面改質用吸着安定化剤

新開発の分子化合物 :仮称 (BN-11とする)。

3 レビンダー吸着処理

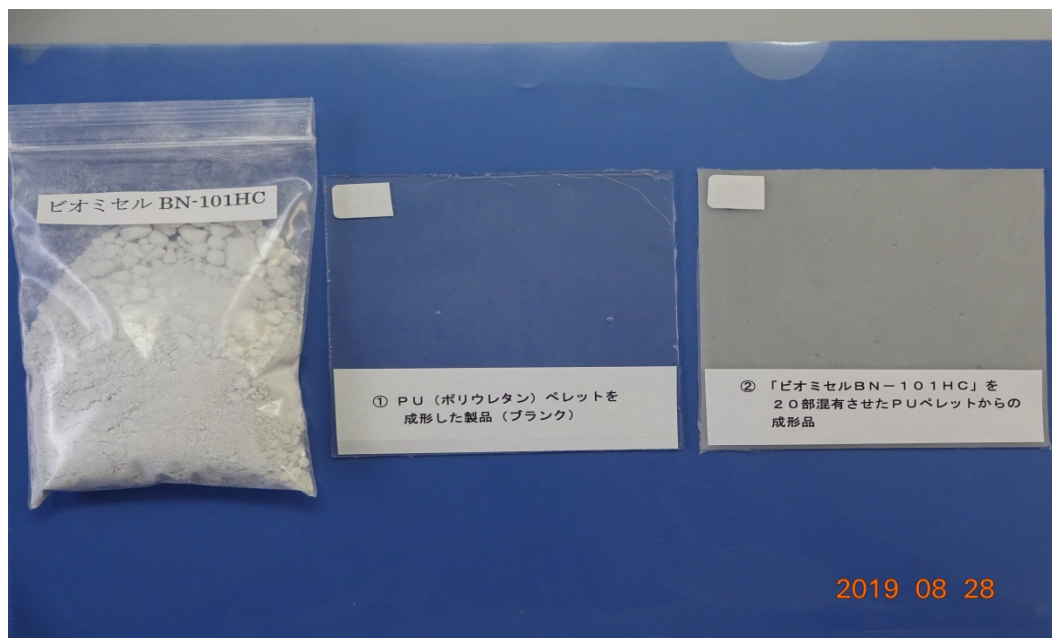
密閉加熱攪拌下、流動させている 炭酸カルシウム粉末に均質に、BN-11の特殊溶液を注入して、混合させた後、特殊溶液を系外に排出させて内部を冷却し、常温状態にして処理物を取り出す。

4 塩ビ、ポリウレタン向け、電気特性改質剤・製品名 :「バイオミセルBN-101HC」

5 固有の応用例

バイオミセルBN-101HCは非常に有用な配合組成物であり、塩化ビニル樹脂や、ポリウレタンの中に 組み入れると、静電気障害の心配のない無帯電性の樹脂成形物を再現性良くつくり出すことができる。

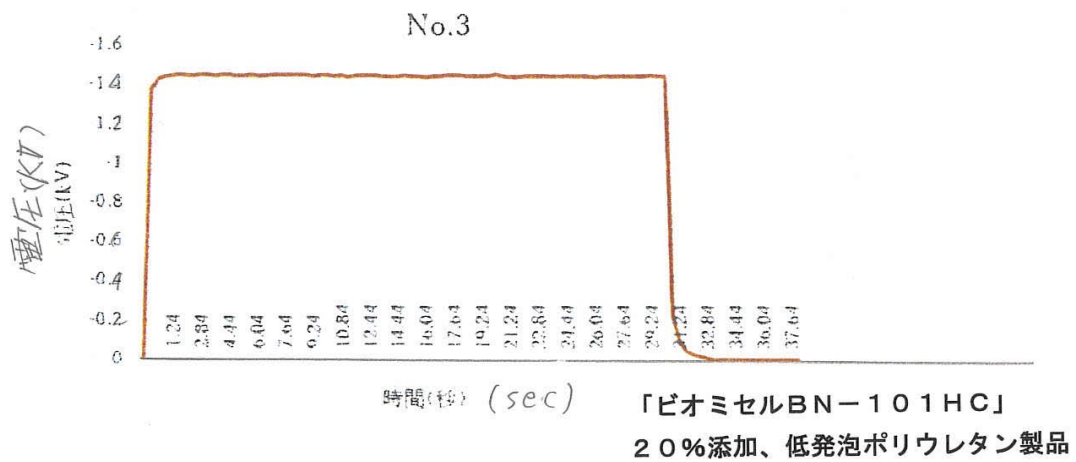
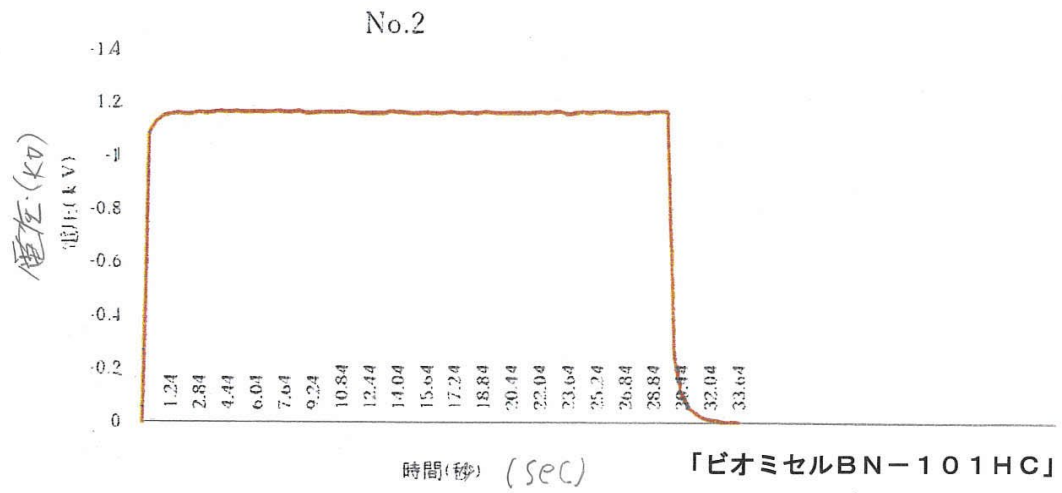
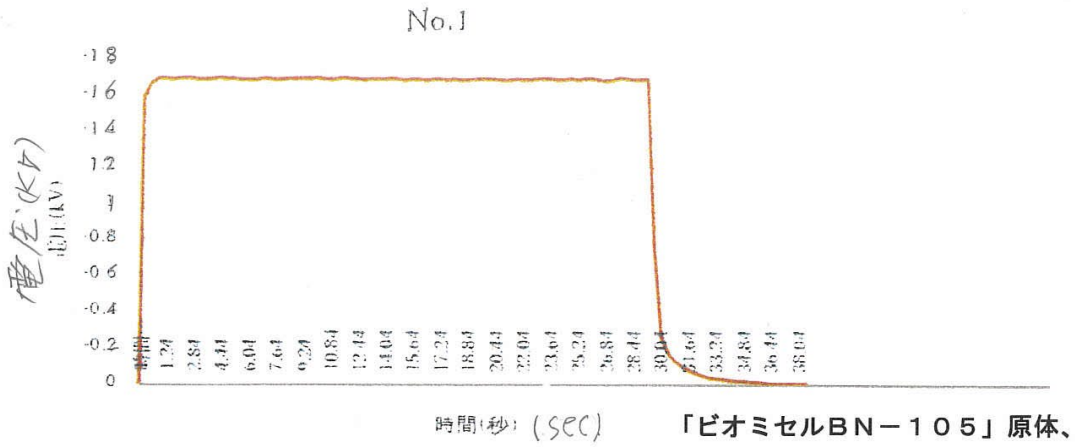
製品姿と実施例



試験体	表面抵抗率 (25°C、30%RH)	10kV、印加減衰率の測定結果
① PU押し出し成形品ブランク	$1,0 \times 10^{12} \Omega/\text{口}$	2 min 後でも帯電価残留
② バイオミセル BN-101HC を20部混有させた、PU押し出し成形品	$6,3 \times 10^{10} \Omega/\text{口}$	半減時間 0,07秒 完全減衰 迄 3秒

《 性能証明 》 印加電圧減衰測定実施データ

30 依多複 第 362 号 3 葉中 3 葉



—以上—

NOZ